

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 21 No 11

244号

平成25年11月 7日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

院長の忙しさ自慢？

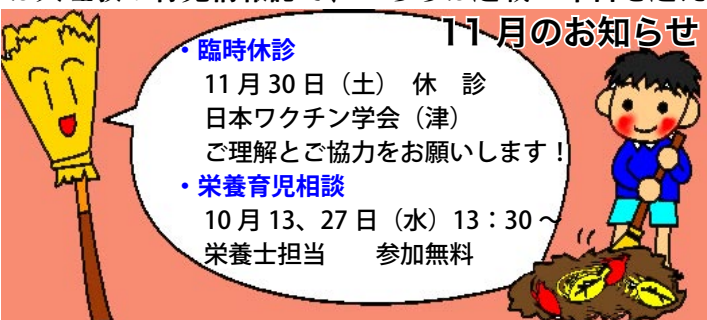
院長

今月は、ちょっと趣向を変えてというか、自慢とも愚痴ともつかない、院長の働きぶりを紹介しましょう。皆さんは、何となく院長は忙しそうと思っているに違いありません。忙し自慢をブログやフェイスブックに載せているので、知っている人も多いはずですよ。

まずは診療のことから、始めましょう。小児科は季節によって流行する病気があり、流行によって患者さんの数は大きく変わります。開業した頃は周囲に病院も少なく、時には200人を超える患者さんをさばいたこともありましたが、今は懐かしい思い出です。患者さんは少子化の影響もあり、年々少なくなっているのは事実です。しかしながら、健診や予防接種の際に住所を確認すると、かなりの患者さんが小児科医を何軒も通り過ぎて、区域外(適当な言葉かどうか?)から通ってきてくれています。この患者さんがいなかったらと思うと...。と言っても、そこそこ忙しいクリニックであることには変わりはありません。

診療以外の仕事はどうでしょう。最初は、仙台小児科医会会長としての仕事です。小児科医会は行政とのかかわり合いも多く、水痘・おたふくワクチン接種費用助成獲得も業績のひとつです。会長として先頭になって活動しているだけでなく、理事会や講演会以外に、仙台市とのかかわり合いの中で“仙台市休日夜間診療運営委員会”、“児童虐待に係る医療との連携に関する検討委員会”、“障害児就学指導委員会”、“乳児健診等に関する打ち合わせ会”など、何やらむずかしい名前の会議にも出席しています。その他、1歳6ヶ月健診や保育園や小学校の健診、在宅休日当番、北部急患診療所など、さまざまな社会的な仕事にも追われています。加えて学校医活動にも力を入れています。仕事は健康診断ではありません。皆さんは学校医の名前と顔を知っていますか。今年から性教育の授業を受け持ち、校長はじめ教職員やPTAの方々とも顔なじみで、しっかり学校にとけ込んで活動しています。

育児情報誌の連載をしていることはご存知ですか？それも仙台市ではなく、豊橋市の「ママゴン」、天理市の「さんさい」です。「ママゴン」は創刊以来10年間のお付き合いで、100連載を超えています。「さんさい」は天理教の育児情報誌で、こちらは連載3年目を迎えます。



11月のお知らせ

- ・臨時休診
11月30日(土) 休診
日本ワクチン学会(津)
ご理解とご協力をお願いします！
- ・栄養育児相談
10月13、27日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料

ました。なぜ地元ではなく、遠方なのでしょう。地元では人気がないかもしれません(笑)。それはさておき、依頼の理由はホームページと「小児科医がやさしく教える赤ちゃん・子どもの病気:PHP」で活動を知り、是非にとお願いされたのでした。連載期間は普通1年、長くても2年が一般的です。しかし、「先生のコーナーは人気が高く、無くてはならないコーナーです」の、お世辞ともつかない褒め言葉におだてられて続けてます。毎月毎月新聞や育児情報誌だけでなく、臨時を含めた原稿に追われる、まるで人気作家のようです。ひと言付け加えますが、印税が入るわけではありません。ちなみに、現在も「健康教室」という養護教諭向け雑誌の特集「大人がかかる子どもの病気」を執筆中です。

幸か不幸か出張も多く、週末は月2回程度、あちこちに出かけています。日本外来小児科学会の役員会だけでも年4回開催され、東京と開催地に出向いています。その他学会や講演会など、北は北海道、南は九州と飛び回っています。日程もタイトで時間的な余裕が無いのですが、日常から離れることがストレス解消のひとつとなっています。時には空いた時間を利用して、観光や名所を巡る時間を作ることもあります。今月も三重で開催される「日本ワクチン学会」参加のため、30日にお休みを頂くことになりました。ブログやフェイスブックでは出張報告、旅行記として、ゆるキャラとの出会い、おいしい食べ物の紹介もしています。2面のQRコードからアクセスできます、興味があればごらんください。

ついでに情報発信についても紹介します。当院の理念は、ご存知のように「お母さんの不安・心配の解消」です。その理念をカタチにするために最初に取り組んだのが、この新聞です。情報発信とコミュニケーションの重要性に気づき、様々な形で展開しています。ツイッター、ブログ、Mail News、YouTube、フェイスブックなど、常に新しい情報発信にも取り組んでいます。

こうやって自分の忙しさについて改めて書いてみると、遊ぶ時間も食事の時間も寝る時間も犠牲にしているように思えるかもしれません。でもちゃんと余暇を楽しみ、しっかり食事もして、ぐっすり眠っているのでご安心ください。

講演の時、「どうして、そこまでののですか」と聞かれます。その時は、「すべては“お母さんの不安・心配の解消”のため」と答えます。このような活動を医師だけがやっていることではありません。小児科医である以上診療以外に活動する、それが「未来を担う子どもたちのために！」なのです。



『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

読者の広場

先月は9通のメールを頂きました。医療相談やプライバシーにかかわるものが多く、紹介はむずかしいところです。インフルエンザワクチン接種の時期になり、接種に関する相談が何件ありました。ブログと重複する部分がありますが、ご容赦ください。

宮城野区の高柳さんから「いつもありがとうございます。長女の和花が中3になりました。いつも我が家は誰かがインフルエンザになります。和花は出来るだけインフルエンザになって欲しくないと思ってます。13歳以上なので、通常1回の接種ですが、2回接種すると、予防が長続きすると、ありますか?」との相談がありました。

確かにワクチンの説明書には、13～64歳までは1～2回接種となっています。果たして2回接種することは、どのような意味を持つのでしょうか。次のように返信しました。「メールありがとう。和花ちゃん、いつの間にか中3ですが、早いですね。さて、インフルエンザワクチンの件です。ワクチンの説明書では、13歳以上では1回又は2回となっています。国立感染症研究所のQ&Aには、次のような記載があります。「65歳以上の高齢者に対しては1回の接種でも効果があり、2回接種による免疫の強化に関する効果(ブースター効果)についての評価は定まっていませんので、現在は1回接種が推奨されています。13歳以上64歳以下の方で、近年確実にインフルエンザに罹患していたり、昨年インフルエンザの予防接種を受けている方は、1回接種で追加免疫による十分な効果が得られると考えられています。2回接種をしたほうがより抗体価は上昇するという報告と、抗体価に変動はないという報告の双方があり、接種回数が1回か2回かの最終的判断は、被接種者の意思と接種する医師の判断によりますので、接種の際には最近インフルエンザにかかったことがあるかどうか、最近ワクチン接種を受けたことがあるかどうかとその時期、そして現在の体調などを担当医師に十分伝え、よく相談して下さい。」他の資料では、「1回接種だと予防効果が64%、2回接種だと94%とされています。2回接種した方が予防効果は高まりますが、逆に言うと2回接種しても6%の人はインフルエンザにかかってしまうということです。」というのがあります。今までも受験生の場合、インフルエンザの罹患を心配して2回接種を受けて方もたくさんいます。大事なことは、どちらを選択した方が後悔しないかということです。この疑問が出た以上、やはり2回接種をした方がいいのではないのでしょうか。」

そして、「高柳和花の母です。お忙しいところ、とても丁寧に説明して下さいまして、ありがとうございます。とても勉強になりました。やはり2回接種しようと思いました。本当にありがとうございました。」とのお礼のメールも頂きました。子育てにかかわらず基本的な考えは、「のちに後悔を残さない」ということです。インフルエンザワクチンの有効率は、流行するウイルスの種類と変異によっても変わります。またMRワクチンなどと違って、かからないようにすることではなく、かかっても軽く済むことがワクチンの目的です。2回接種してかかった場合には仕方なかったと考えられますが、1回接種でかかった場合には、2回接種しておけば良かったとの後悔の念が生まれます。参考になったでしょうか。

インフルエンザワクチン接種

13歳未満2回 13歳以上1回
料金(1回) 3150円(消費税込)

インフルエンザのワクチンの季節になりました。ワクチンが不足する場合がありますので、早めの予約をお願いします。

7月から水痘・おたふくワクチン公費助成開始

仙台市では、仙台小児科医会、仙台市医師会の要望により、上記ワクチンの公費助成が始まりました。

対象:1歳~3歳未満(誕生日前々日)

開始時期:平成25年7月

助成回数:各々1回分(追加としての接種も可能)

負担額:

水痘 4000円 おたふく 2500円

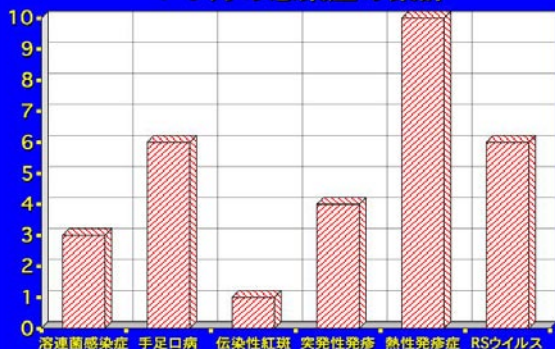
支払い:窓口で負担額分をお支払いください。

予防接種委託料分5230円が助成されています

詳細は、右上QRコードで仙台市HPへ



10月の感染症の集計



珍しく水痘が一人もいませんでした。これがワクチン接種費用の影響だといいいのですが…。手足口病もかなり減少して、下旬にはほとんどみられなくなりました。特別流行している病気はありません。今月から現在流行しているRSウイルス感染症を加えました。



診療時間の変更について

インフルエンザ予防接種のため、例年通りワクチン接種期間(11月から12月末まで)は、月・土曜日の健診・予防接種の時間を延長いたします。

健診・予防接種の時間 14:00~15:00

午後の診察は15:00からになりますので、ご注意ください。よろしくご協力お願い致します。

Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、440人を越えるお母さんが登録。下のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信としてTwitter、Blog「こどもクリニック四方山話」、Facebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください!

Mail Newsかなり戻ってきます。届かない場合はkodomoclinic.or.jpをドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter



Blog



Facebook

編集後記

忙しさを強調したのは、新聞発行遅れのの言い訳です(笑)。診療以外に様々なことに取り組んでいるのです。病院はあちこちにあります。なぜ小児科医でなければならないか。その理由は、この記事にあります。他科は子どもは診ていますが、子どもを見ているわけではありません。メールで質問を受けるのも、子どもを守り母親を支えるのも、小児科専門医だからこそできるのです。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!